

実務で使うバイオマス熱利用の理論と実践

バイオマス熱利用のポテンシャルは膨大であり、地域経済再生・SDGsの有力な手段となるものである。このため、NPO法人農都会議では、創立以来8年にわたりバイオマス熱利用を本格的に普及拡大すべく、多面的な活動を展開してきた。しかしながら、バイオマスの現場では、エンジニアリングの基礎知識なしに計画・設計されており、その結果、稼働停止状態か、稼働していても採算が取れないなど大きな課題を抱えているケースが多数あることが判明した。

農都会議ではこうした状況に強い危機感を覚え、バイオマスアカデミーを設立して、バイオマス熱利用に関するエンジニアリングの体系的な分析を行い、その成果を広く公開してきた。本書は、その活動の集大成である。

また、バイオマス熱利用の書籍として、今までにないエンジニアリング部分に焦点を当てた画期的なものであり、バイオマス熱利用の関係者にとって、プロジェクト推進、課題克服の一助となれば、執筆者全員の喜びである。

【目次】

- 第1章 木質バイオマス熱利用が開く未来と地域社会
- 第2章 木質バイオマス熱利用と燃料
- 第3章 木質バイオマスボイラー設備の特徴と制御
- 第4章 熱需要分析と設備規模
- 第5章 熱利用システムのエンジニアリング
- 第6章 安定稼働のための運転管理とメンテナンス
- 第7章 ランニングコスト・事業性分析
- 第8章 事業性評価のプロセス
- 第9章 プロジェクトマネジメント
- 第10章 バイオマス熱利用と法規制
- 第11章 欧州と日本との比較分析
- 第12章 SDGsと木質バイオマスエネルギー
- 第13章 地方創生に活かす木質バイオマスエネルギー
- 第14章 バイオマス熱利用・岩手県事例解析
- 第15章 参考資料

書名：実務で使うバイオマス熱利用の理論と実践

推薦文：

柏木孝夫（東京工業大学 特命教授 先進エネルギー国際研究センター長）

はじめに：

梶山恵司（WB エナジー 代表取締役）

著者：

梶山恵司（WB エナジー）、竹林征雄（BIN）、伊藤幸男（岩手大学）、
山崎 尚（WB エナジー）、遠藤元治（富士大学）、黒坂俊雄（元神鋼リサーチ）、
菅野明芳（森のエネルギー研究所）、江川広和（森のエネルギー研究所）、
杉浦英世（農都会議）、山本 登（農都会議）

著作：特定非営利活動法人 農都会議 編

発行：日本工業出版 株式会社

発刊：2020年7月末日予定 体裁：B5判 約200ページ

定価：3,000円（税別）

お問合せ・お申し込み：NPO 法人農都会議 事務局

E-mail: noutokaigi@gmail.com

TEL 080-5485-1440